

# 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター がん総合医療センターがんサバイバーシップ外来



## 小児がん経験者 (CCS) トランジション支援プログラム

小児がんの治療成績が向上し、がんの予後が改善するなか、晩期合併症の治療に加え、将来起こりうる健康のリスクに備えて、成人医療の視点での健康管理の必要性が言われるようになってきています。しかし、小児科から成人診療領域へのトランジション（移行期医療）のプロセスはシステム化されておらず、成人医療のなかでの小児がん経験者（Childhood Cancer Survivor, CCS）の健康管理のモデルがないのが現状です。

小児科チームから受け継いだバトンを、どのように成人医療につなげていけばよいか、これから CCS のトランジションのプログラムを構築しようと考えておられる医療従事者の皆様の参考になれば幸いです。

令和2-4年 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

「小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究（研究代表者 松本公一）」  
分担研究「小児がん経験者における小児期から成人期のフォローアップケアへのトランジションモデルの構築」

## 紹介元施設

- ・トランジションに向けての準備
- ・患者や家族との相談
- ・NCGMの成人診療科/AYA支援チームとの情報共有に関する同意
- ・NCGMへの診療情報提供(がん治療歴、合併症治療歴)



## NCGM (がんサバイバーシップ外来)

- ・診療情報提供書確認  
腫瘍内科医、外来担当医
- ・初診  
顔合わせ  
問診  
AYA支援チーム窓口(リエゾン看護師)
- ・初期アセスメント
- ・電子カルテ内の専用患者リストに登録
- ・トランジション症例検討会「合同カンファレンス」

### トランジションチーム

腫瘍内科  
小児科  
総合診療科  
内分泌代謝科  
もしくは糖尿病内分泌代謝科  
循環器内科  
産婦人科

晩期合併症に詳しい小児科医師の助言を得ながら、腫瘍内科医がコーディネーターとなって、関係する診療科の医師によるチームを構築します。

### AYA支援チーム

リエゾン看護師/がん専門看護師  
医療ソーシャルワーカー  
薬剤師  
産婦人科医(生殖医療医)  
医事課(医師事務)

心理社会的な支援問題をサポートします。

症例に応じて、心療内科、臨床ゲノム科、精神科、腎臓内科、整形外科など関係診療科に声かけ

## NCGM (成人診療科各科)

- ・各科での診療
- ・がんサバイバーシップ外来での継続フォロー(相談窓口)
- ・AYA支援チームの関与(心理支援、自立支援)
- ・地域との診療連携



1

## 紹介元

地域医療連携室に電話 or 診療予約申し込みをFAX

2

## 地域医療連携室

初診外来の日程調節を行い、予約票を送付

3

## 紹介元の医師

病院間での情報共有に関する同意を患者に得た上で、紹介状および予約票を患者へ渡す

4

## 患者

予約日時に保険証・紹介状・予約票を持参し受診

5

## サバイバーシップ支援科 (がんサバイバーシップ外来)

合同カンファレンスの文書同意を患者から取得  
データベースに登録

6

## 合同カンファレンス (トランジション症例検討会)

紹介元や今後FUに関する施設や部署と情報共有

7

## 各診療科

がんサバイバーシップ外来および各診療科でのフォロー継続

8

## 院内カンファレンス

必要に応じて近況の情報共有



# トランジション支援プログラムとは

当院では2020年度より、成人期に達した CCS の成人医療への円滑な移行をサポートする CCS トランジション支援プログラムを行っております。

## 対象となる方

晩期合併症の治療を要し、現在、当院の当該診療科で主な合併症の管理に関して受け入れが確定している方に限定しています。また、トランジション後に、合同カンファレンスで施設間の関係者が情報共有をすることに関して、CCS 本人、ご家族に内諾をいただくことが紹介の条件となります。複数の診療科にかかっている場合には、可能な限りすべての診療科の情報提供書をご用意いただけます。

国立国際医療研究センター  
がん サバイバシップ外来 FAX 予約申込書  
※ 医療機関より診療情報提供書と共に FAX してください。  
[FAX 番号: 03-3208-1003 (地域医療連携推進課)]

受診者情報	
フリガナ	男
受診者氏名	女
生年月日	年 月 日 (歳)
電話番号	都道府県 区市郡
当院受診歴	① ② ③
事前確認	<input type="checkbox"/> あり (診察券番号: ) <input type="checkbox"/> 初診後に紹介元と当院とで合同カンファレンス (オンライン) を行います。ご紹介いただく患者さまは、病院間で情報共有についてご同意をいただいていますか? <input type="checkbox"/> 同意あり <input type="checkbox"/> 説明未了
予約希望日	(月曜日から土曜・午後、複数可)
紹介元情報	
送付元	
医療機関名	
所在地	
医師名	
ご担当者様氏名	
直通 TEL	
直通 FAX	
受診日調整用メールアドレス	(部署名: )
ご担当医	診療科・医師名
	* 合同カンファレンス日程調整のため、連絡先をご記入ください。 Mail: _____

2021年4月1日  
医療連携推進課

**カンファレンスのオンライン実施マニュアル**

1. 目的  
本マニュアルは、院内の遠隔支援部門等で開催する NCGM の患者様、関係機関とのカンファレンス等をオンラインで実施する場合の指針

2. 実施  
患者またはその家族の同意を得て、患者またはその家族、院内スタッフの他関係者が入退院支援等に必要なカンファレンスをオンライン (以下「オンラインカンファレンス」) により実施することである。

3. 方針  
(1) オンラインカンファレンスの開催  
原則、ソーシャルワーカーもしくは退院調整看護師とする。  
(2) オンラインカンファレンスの参加者  
ソーシャルワーカーまたは退院調整看護師等の主催者が参加を必ず  
(3) 利用ツール  
NCGM で対応している Microsoft Teams を用いる。  
(4) アクセス環境  
NCGM 専用ネットワークに接続し使用するシステムは、ハードウェアが提供されていること。デバイスは、NCGM 医療情報基盤センター医務課に備置で管理している品に限る。  
アクセスする場所は、原則にオンラインカンファレンス参加者以外がアクセスできない環境で実施すること。個人情報が関係する可能性がある「安全な場所」のアクセスであること主催者は確認

国立国際医療研究センター病院 (NCGM) 院  
標準 1  
**同意書**

国立国際医療研究センター病院退院支援部門が主催者としてオンラインにより遠隔支援等が必要なカンファレンス等を開催・実施する。(以下、オンラインカンファレンス)  
 主催者がオンラインカンファレンス参加者を招待する。  
 オンラインカンファレンス参加者は患者又はその家族、院内スタッフ、地域関係機関及び必要とされる関係者とする。  
 オンラインカンファレンスで扱う患者情報は、診療・看護及び医療、退院後の社会生活等カンファレンスの目的に限定して開示する。また、NCGM 内で遠隔支援等の目的で連絡・連絡先を交換する場合は、NCGM 内で遠隔支援等の目的で。  
 オンラインカンファレンスは NCGM で契約している Microsoft Teams を用いる。  
 参加者が Microsoft Teams に接続し使用するシステムは、ハードウェア的にセキュリティが担保されていること。  
 アクセスする場所は、原則にオンラインカンファレンス参加者以外がアクセスできない環境で実施すること。個人情報が関係する可能性がある「安全な場所」のアクセスであること主催者は確認  
 参加者はオンラインカンファレンスの案内を含め、オンラインカンファレンスに共有する個人情報や関係機関連絡先等、オンラインカンファレンスに提出する一切の情報は記録媒体に記録し、第三者に転送、ネット上に開示したり、開示しない。  
 私は、上記事項を理解した上で本書面をもって、オンラインカンファレンスの開催及び参加することに同意します。(印刷項目に必ず記入して下さい)

記帳日 年 月 日  
ご住所 \_\_\_\_\_  
ご氏名 (読物) \_\_\_\_\_

2021.4.1 国立国際医療研究センター病院 医療連携推進課

## 合同カンファレンス

トランジション外来初診後、CCS 本人への説明と同意のもと、紹介元の小児科チームと NCGM のトランジションチームの合同カンファレンス (トランジション症例検討会) をオンラインで開催し、診療情報や健康管理に関する指導状況などの確認や、今後起こりうる健康の問題の情報共有を行なっています。その後は、随時、NCGM のチームメンバーでのカンファレンスを行い、情報共有に努めています。(カンファレンスの所要時間は CCS おひとりにつき約 30 分です)

## 医療の継続

治療中の晩期合併症については、必要に応じて NCGM の当該診療科で治療を継続するとともに、成人医療の視点であらためて健康状態の評価を行い、健康管理に関して提案いたします。必要に応じて地域の医療機関と連携します。

## こころや暮らしの支援

診察に AYA 支援チームの看護師が同席し、チームのソーシャルワーカーや心理師等と連携して心理社会的な問題について一緒に考えます。

病院が変わるとともに自分でも聞けるようになったらなみたいな、切り替えのときにできたら



一回ちゃんと自分がいろいろ理解できるようになったタイミングで、これまでのしてきた治療とかを振り返る時間とか、知識としてお話しできる時間があったりしたら、今後また過ごしやすい

今までなんで具合が悪いんだろうって分からなかったこととかも、こちらで説明していただいて納得した

どこ行けばいいか分からないみたいな感じだったので、やっぱり今回ご紹介いただいてすごくよかった

### 受診後の 小児がん経験者からの声

フォーカスされなかった問題が出てきたりとかして、それはやっぱり大人の病院に移ってよかった

私の年代の方でここまでトランジションで来られてる方がどれくらいいるのかって、多分、少ないんじゃないかな



小児がんの影響がどれだけあるのか、自分もまだ不安があるので、できれば大きい所で診ていただけるほうが、やっぱ、こうやっているんな科につないでいただけるので安心かなとは思っていますね。

すごい丁寧に説明してくださるし、これまでの先生から聞いてたことと違うことが、あれかと思うようなことが、質問するとすごく納得いくまで説明してくださるし、移って良かった



総合的に診てもらえて安心

われわれも夫婦そろって結構な年齢なので、いつどうなっちゃうか分からない状況っていうのは考えているので、本人にできるだけ自分のことは自分でできるように

自分で、独りで、病院から離れずに、定期的にチェックしていただいて、何かあれば早めに見つけて、早めに治療と思ってます

\*分担研究インタビュー調査より

### 受診後の保護者からの声

NCGMのCCSトランジション支援プログラムは、試験的に運用を開始したばかりです。十分に時間をとった初診時の面接、チーム支援や紹介元とのカンファレンス、チームカンファレンス等、どれも円滑なトランジションには重要だと考えていますが、現在はいずれもチームメンバーのボランティアで実施しているのが現状です。今後このモデルを全国に広げようとするならば、CCSの長期的な健康の問題に関する成人医療側への周知、トランジションに携わる医療者の充足、トランジションプログラムの運営に対する施設のインセンティブなど、多くの解決すべき課題があります。

詳細は、NCGMがんサバイバーシップ外来のホームページをご参照ください。  
<https://www.hosp.ncgm.go.jp/ccs/120/020/contents.html>



令和2-4年 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

「小児がん拠点病院等及び成人診療科との連携による長期フォローアップ体制の構築のための研究（研究代表者 松本公一）」

分担研究「小児がん経験者における小児期から成人期のフォローアップケアへのトランジションモデルの構築」（研究責任者：国立研究開発法人 国立国際医療研究センターがん総合診療センター 副センター長 清水千佳子）

発行日：2023年3月 デザイン：幅雅臣 印刷：ダイコー印刷株式会社

本リーフレットに関するお問合せ：NCGM 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター NCGM がん総合診療センター がんサバイバーシップ支援科  
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL. 03-3202-7181